

ボストン東スクールより来日 (2/10～18)



今年も小・中学校発表会の日程にあわせて、ボストン東スクールから9名の皆様が来日されました。

学園ツアーでは各園校をまわって園児・児童・生徒たちと交流されたほか、中学校の英語の授業にもご協力いただきました。中学校では、好きなスポーツや日本のお気に入りの場所、さらにはボストンのことなど様々な質問をし、生徒は返ってくる英語の答えに熱心に耳を傾けていたそうです。また話題は日本の文化や食べ物にも及び、ある生徒はお好み焼きについて、語彙を駆使して説明するなど、積極的にコミュニケーションをとろうとする様子も見られたということでした。

学園で行われた両校の情報交換（ビジネスミーティング）では、日本側から55周年記念事業の進展状況やインドの自閉症児の学校設立への協力について報告されました。あわせて、清水常務から学園が今年度応募している「I' mPOSSIBLE（アイムポッシブル）アワード※」についても話題としました。

ボストンからは施設改善が進められていること、新たに理科室の設置を考えていること、そのために今回は施設マネージャーの方もつれてきて日本の学校の様子を参考にしていることが伝えられました。また、寄付金活動を強化していることなどが報告されましたが、ボストンでも教育の「承継」が課題となっていること、遠くない将来に向け対応をしていく必要性を説明されました。そして、寺田理事長たちの6月のボストン訪問を心待ちにしているという言葉でボストンからの報告は締めくくられました。

※日本全国の学校の中から、国際パラリンピック委員会（International Paralympic Committee、以下IPC）公認パラリンピック教育教材『I' mPOSSIBLE』日本版を活用し、インクルーシブな社会づくりに貢献する活動を行った学校2校（開催国最優秀賞1校／開催国特別賞1校）を選出します。2020年9月6日（日）に実施される東京2020パラリンピック競技大会閉会式にて、表彰を行います。

*こちらから [武蔵野東学園ホームページ](#) へ

